

下水道整備は多額の費用と時間がかかりますが、村民の要望は極めて強いものがあり合併浄化槽の設置を推進して参ります。

若者や子育て世代の定住を進めるため、宅地の供給や身近な公園整備などについても検討して参ります。

時代に対応する 支援活動を充実

保健・医療・福祉の充実

安心できる暮らしを守ることであります。

介護保険制度の進展に合わせて、保健医療福祉活動の連

携強化を図り、少子高齢化時代に対応する福祉活動、子育て支援活動を充実し、村民のボランティア活動を支援して参ります。



痴呆性グループホームの整備を十五年度中に完了し、本格的な運営を関係法人と連携して行つて参ります。



子育て支援センターで楽しく過ごす子どもら。安心できる暮らしはかけがえない財産

行財政改革の推進姿勢として 住みよい村つくります

特色活かした村 自らの力で築く

住民参画による開かれた行政活動を展開

国は、財政再建を強行し、地方分権や市町村合併などを強力に推進しております。

「自己決定・自己責任」の原則のもと、自らの地域を自らの力で築き、真に自立ある地域として発展させていくため、村の特色を活かした地域づくりが一層求められております。限られた財源を効率的に活用するため、行財政改革の推進や定員管理の一層の適正化を進めて参ります。

情報公開制度で 開かれた村政を

住民参加行政の推進

住民の意向を行政に反映させることであります。

村民の知る権利にのっとり、村民に対する説明責任を果たすよう情報公開制度を創設します。

公正で開かれた村政の一層の推進に努め、村政懇談会などを通して幅広く村民の意向

を収集し、優れた知識、知恵を提供いただき、多くの村民の参画を求めた事務事業の推進に努めて参ります。

財政の健全化と 新投資は慎重に

財政再建

村の財政は、長年の債務の

蓄積や経済不況に伴う税収の伸びなやみ、国の補助制度の見直し、交付税の削減などで一層厳しさを増しております。

公債費負担適正化計画に基づく財政の健全化に努め、新たな事業への投資効果予測を慎重に行います。

既存事務事業などの統合、廃止、広域共同化を検討し、既存施設の有効利用も一層進めて参ります。



村の財政は一層厳しさを増しています。苦しくても笑顔でワカメの作業に精をだす漁師たち(堀内漁港)

通信整備を促進 関係機関と連携

情報化時代への対応

電脳村(パソコンなどの情報通信機器で村民全てが、村内外と交信できる村)を目指すことであります。

村民に身近な情報通信の整

備を関係機関と連携して促進し、村民生活の向上を図りたいと考えております。

本年は、すべての地方公共団体を相互に接続する総合行政ネットワークシステムの加入準備を行います。行政情報の高度利用も図って参ります。